

いわて復興だより



平成 23 年 3 月 11 日に東日本大震災津波が発生しました。発災以来、国内外から多くの温かい励ましや御支援をいただいております。心から感謝申し上げ、この「つながり」を大切にしていきたいと思っております。

がんばろう！岩手 つなごろう！岩手 第 160 号 令和 2 年 4 月号

復興に向けて歩み続ける岩手県の今を紹介します

三陸鉄道リアス線全線運行再開 & 「復興の火」の展示

三陸鉄道沿線
SANRIKU

三陸鉄道全線運行再開

令和 2 年 3 月 20 日（金）、昨年 10 月の台風第 19 号による被害で一部不通となった三陸鉄道リアス線が最後の不通区間である釜石―陸中山山田間の復旧工事の完了により約 5 カ月ぶりに全線での運行再開となりました。

新型コロナウイルス感染防止対策の徹底を図り、内容を縮小して山田町の陸中山山田駅で行われた記念列車出発式では、三陸鉄道の中村一郎社長が、「多くの皆様のご支援に感謝し、人と人、地域と地域を結び三陸を元気にしていく」と決意を述べ、三陸鉄道の全線運行再開を宣言しました。

当日の強風により、記念列車は釜石駅までの運行予定を岩手船越駅に変更しましたが、沿線住民の皆さんが駅や沿線で小旗や大漁旗、手作りの横断幕で全線開通を祝いました。



記念列車出発式でのテープカット（陸中山山田駅）

「復興の火」が到着

さらに、22 日（日）には東京 2020 オリンピック競技大会の聖火リレーに先立ち、「復興の火」として聖火が岩手に到着し、全線運行再開したばかりの三陸鉄道で運ばれました。宮古駅前の出発セレモニーでは黙とうの後、達増知事が聖火皿に点火すると、「復興の火」は力強く燃え上がり、会場からは大きな拍手が沸き起こりました。

「復興の火」は、ランタンに入れられ、陸中山山田駅、大槌駅、釜石駅で順次展示され、JR 釜石線「SL 銀河」に載せ替えて花巻駅を目指しました。23 日（月）には、大船渡市のおおふなぼーとで展示され、多くの方が記念撮影などを楽しみました。

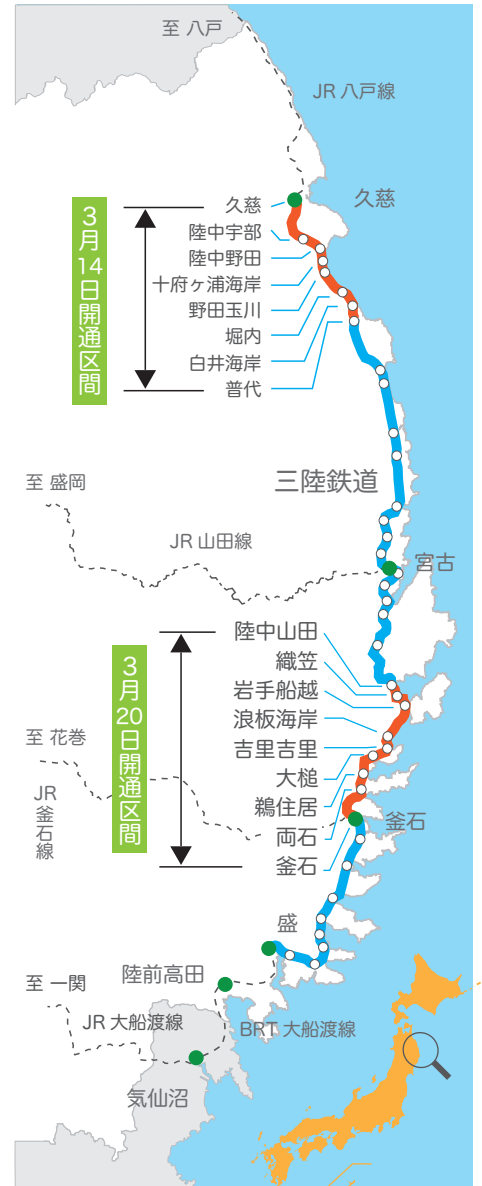
三陸鉄道の最新情報はホームページをご覧ください。



<https://www.sanrikutetsudou.com/>



展示された「復興の火」（宮古駅）



※ 東京 2020 オリンピック競技大会の開催は令和 3 年 7 月 23 日（金）から 8 月 8 日（日）までとなりました。

新型コロナウイルス感染症に関する岩手県からのお願い

- ☑ 不要不急の外出を控える
- ☑ 密閉・密集・密接の「3つの密」を避ける
- ☑ こまめな手洗いと咳エチケット

岩手県の「新型コロナウイルス感染症関連」への取組は、岩手県ホームページをご覧ください。



緊急事態宣言発令中（～5/6）

繁華街の接待を伴う飲食店などの利用自粛を強くお願いします
不要不急の帰省や旅行など、都道府県をまたいでの移動は控えていただくをお願いします

災害公営住宅等における被災者の見守り等支援

沿岸部の災害公営住宅は、昨年11月に全5,550戸の整備が完了し、暮らしの再建に向けた取組が進んでいます。

岩手県では、県社会福祉協議会と連携して配置した生活支援相談員が、民生委員や市町村が配置する支援員等と協力しながら、災害公営住宅等に居住している方への見守りなどの個別支援や交流会の開催など、住民相互に支え合うコミュニティ形成のための地域支援に取り組んでいます。

また、生活支援相談員が被災者にとって、より身近なところを拠点として重点的な支援活動ができるよう、社会福祉協議会と連携し、生活支援相談員を災害公営住宅の集会所などに配置しています。

現在、新型コロナウイルス感染症の影響により、交流会等の開催が自粛されていることから、電話による見守り回数を増加させるなど、被災者の皆さん一人ひとりに寄り添ったきめ細かな支援を心掛けています。


■問い合わせ：

岩手県復興局生活再建課

☎ 019-629-6926



20万点を超える東日本大震災津波に関する資料を検索・閲覧できます。

いわて震災津波アーカイブ  希望

<http://iwate-archive.pref.iwate.jp/>

パソコンから タブレットから スマートフォンから
今すぐアクセス



概要

岩手県では、東日本大震災津波からの復旧・復興の状況を後世に残すとともに、事実を踏まえた教訓を伝承し、国内外の防災活動・教育等に生かすため、市町村や関係機関の皆様にも御協力いただいて、「いわて震災津波アーカイブ～希望～」を開設しています。

連携先

国立国会図書館の震災関連アーカイブとの連携により国内での活用を促進してきたことに加え、令和2年2月からハーバード大学のアーカイブとも連携し、海外への情報発信も強化しています。

活用状況

平成29年3月の開設以来3年間で約54万6千件のアクセスがあり、多くの方々に御活用いただいております。

資料数

被災地の写真や新聞記事、「津波てんでんこ」などの事例等、東日本大震災津波に関連する約24万点の資料を検索・閲覧できます。

■問い合わせ：岩手県復興局復興推進課 ☎ 019-629-6945

[いわて震災津波アーカイブ](#)

[検索](#)

復興の取組発信の動画公開

岩手県は、復興の歩みを進める岩手の今を伝え続けることで、震災を風化させず、復興への継続的な支援につなげるため、「復興新時代をいわてから。」と題して動画（YouTube）やポスターを公開しています。

令和2年2月14日（金）、『いのちをつなぐ未来館・菊池のどかさん～編』、『水門・陸閘（りっこう）自動閉鎖システムと野田村消防団～編』を公開しました。

岩手県特設サイト「いわてとあなたが、つながるページ」や「岩手県公式動画チャンネル」（YouTube）で公開していますので、ぜひご覧ください。



菊池のどかさん

菊池のどかさんは、釜石東中学校3年生の時に震災を経験。その後、「いのちをつなぐ未来館」のガイドとなり、来場者に大切なメッセージを伝え続ける姿をポスターと動画で表現。



野田村消防団の皆さん

岩手県は、津波時に現地で人が作業する必要のない、自動で水門・陸閘を閉鎖するシステムを導入。自動閉鎖システムを備えた水門と、災害時に住民を誘導する消防団の姿をポスターと動画で表現。



岩手県特設サイト
「いわてとあなたが、
つながるページ」

<http://www.iwatekara.jp/>



岩手県公式
動画チャンネル
（YouTube）

<https://www.youtube.com/user/prefiwate>

■問い合わせ：

岩手県政策企画部広聴広報課

☎ 019-629-5283



東日本大震災津波の被害を受けた沿岸地域の郷土芸能の復興の姿と支援への感謝をお伝えしていきます。第1回は大槌町の伝統芸能「安渡虎舞」について、高清水敬士さんに伺いました。



大槌虎舞協議会
安渡虎舞保存会 会長
高清水 敬士さん

岩手県山田町、釜石市、大槌町の郷土芸能として知られる“虎舞”の由来は古く、江戸時代の歌舞伎がルーツになっていると言われています。

大槌町には、虎舞を継承する団体が4つあり、団体ごとに踊りや囃子（はやし）が異なる中、大槌町安渡地区の“安渡虎舞”は、大槌町では

一番古くから活動する団体で、伝統的な演舞が特徴となっています。

東日本大震災津波では、海に面した安渡地区を津波が襲い、虎舞に使われる屋台（山車）、太鼓、笛、虎頭、衣装などの道具が流されました。

震災直後は、道具も失った中で郷土芸能を継続することは難しいのではないかという気持ちもありましたが、「虎舞で地域を盛り上げよう」という声が上がると同時に、多くの方々からご支援をいただき、道具などを揃えることができ、震災から半年後には活動を再開することができました。

現在は、幼稚園児から大人まで約100人が参加していて、9月に安渡の大槌稻荷神社と小槌神社で開かれるお祭りや、全国郷土芸能大会への出場、結婚式などのお祝い事で虎舞を披露しています。

郷土芸能は伝統を守るだけでなく、大人が地域の子どもたちに目を向けることで子どもたちの健全育成にも役立っています。また、活動を通して子どもたちの交流も深まり、郷土愛も育まれています。

これまでご支援いただいた方々からは、今でもお声を掛けていただき、お礼の意味を込め全国各地に出向き虎舞を披露しています。これからも“安渡虎舞”の演舞でみなさまへの感謝の気持ちを伝えていきたいと思ひます。



安渡虎舞の演舞の様子
(写真提供：安渡虎舞保存会)



支援により揃えられた虎舞の道具

「復興シーフードショー IWATE」開催

盛岡市
MORIOKA

令和2年2月13日（木）、盛岡市で開催した「復興シーフードショー IWATE」において、「第21回岩手県水産加工品コンクール」と「展示商談会」を実施しました。

「復興シーフードショー IWATE」は、水産業の復興している姿を情報発信することや、事業者の商品開発力の向上などを目的に平成26年から実施しているものです。

「第21回岩手県水産加工品コンクール」では、「子どもたちに食べさせたい!!」をテーマに、水産加工業者のほか、県立宮古水産高校などから116品もの多彩な加工商品が出品され、農林水産大臣賞、水産庁長官賞、岩手県知事賞などを決定しました。



農林水産大臣賞に選出された株式会社 株式会社 岩手産バター『UNI&岩手産バター スプレッド』

コンクールの主な結果

農林水産大臣賞（1点）

洋野うに牧場の四年うに
UNI&岩手産バター スプレッド
(洋野町 株式会社 ひろの屋)

水産庁長官賞（1点）

ぬか漬さんま
(山田町 株式会社 木村商店)

岩手県知事賞（5点）

宮古 牡蠣の醤油煮
(宮古市 丸友しまか(有))

金のなたねと銀のさば
(宮古市 NPO 法人 イーハートブとりもと)

鱈のぶっかけ丼
(宮古市 (一社) 宮古観光文化交流協会
浄土ヶ浜レストハウス)

いさだ舞
(大船渡市 株式会社 生活魚すごう)

三陸岩手の生ハム とろ鯖
(盛岡市 株式会社 桑ん工房)

※このほか、審査員特別賞が3点、岩手県民特別賞が4点選ばれました。

詳細は、コンクール受賞結果のホームページをご覧ください。

<https://www.pref.iwate.jp/sangyoukoyou/suisan/suisanbutsu/suisan/1026958.html>



東日本大震災津波伝承館等 臨時休館のお知らせ

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、東日本大震災津波伝承館を含む高田松原津波復興祈念公園内の各施設は下記の期間休館します。

なお、道の駅「高田松原」のうち、道路情報提供施設、24時間トイレ及び駐車場はこれまでどおりご利用いただけます。

■臨時休館期間

令和2年4月12日（日）から
5月6日（水）まで

■休館する施設

- ・道の駅「高田松原」のうち地域振興施設
- ・東日本大震災津波伝承館
- ・国営追悼・祈念施設（祈りの軸、献花の場、海を望む場、奇跡の一本松）

※ 詳細は公式ホームページをご覧ください。

<https://iwate-tsunami-memorial.jp/>

■問い合わせ：

東日本大震災津波伝承館 ☎0192-47-4455



岩手県では、東日本大震災津波からの復興の取組と、そこから得られた教訓や提言を取りまとめた「東日本大震災津波からの復興ー岩手からの提言ー」を発行しました。

作成目的

東日本大震災津波の経験や教訓を県の組織内で確実に継承し、将来の災害の発生に備えるとともに、取りまとめた内容を発信することで日本全体の防災力向上に貢献しようとするものです。

主な内容

県が取り組んできた各分野の取組や教訓を中心に取りまとめながら、有識者の方々からの教訓・提言など

のメッセージ、また沿岸市町村や関係団体・企業等のそれぞれの取組や提言を寄稿していただき、掲載しています。

対象とする提言先

県内市町村や都道府県に対しても発信を行い、将来の災害対応等に役立てていただくとともに、国が所管する復興を支える制度や財源などの仕組みについても、提言を行っています。

本提言集は、広く県内外で活用いただけるよう、以下のホームページにデータ版(PDF)を掲載しています。



<https://www.pref.iwate.jp/shinsaifukkou/densho/1027741/index.html>



■問い合わせ：岩手県復興局復興推進課 ☎019-629-6945

連載「いわてさんりくびと」では、被災地・三陸の復興に向け、熱い想いをもち、活躍する方々を紹介していきます。

第105回は、小野寺 梨奈さんを紹介します。

PROFILE

山田町出身。山田町の小・中・高校を卒業。山田町で働きたいとの思いから、平成29年、「うみねこ温泉 湯らっくす」に就職し、現在、フロントスタッフとして接客を担当する。

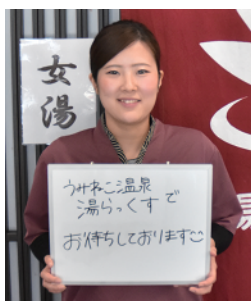
三陸観光の拠点として

「うみねこ温泉 湯らっくす」は、日帰り入浴、宿泊施設、食事処を完備した温泉施設で、小野寺さんは平成29年9月のオープンに合わせて就職しました。

東日本大震災津波発災時、中学3年生だった小野寺さんは、「復興が進み、昔の風景を思い出せないくらい街並みは変わってきました。山田



うみねこ温泉 湯らっくす
スタッフ
小野寺 梨奈さん
(おのでらりな)



うみねこ温泉
湯らっくす
お待ちしております

の海が大好きで、旅先から帰ってきた時も海を見るとほっとします。昨年の台風第19号で三鉄の運行が取りやめになった時は寂しく思いましたが、運行が再開し、三鉄が走る姿を見ると明るい気持ちになり、町も活気付く印象を受けます。「湯らっくす」は駅にも近いので、是非、三鉄を利用して多くの方に来てもらいたいと思います。」と山田町への思いを話します。

地元で働くやりがいを感じながら

「地元の方には日帰り入浴が人気で、また利用してもらえるよう、私もお客様に合わせて笑顔で接客に努めています。アットホームな雰囲気施設の施設なので、お客様から『ありがとう』『がんばって』と言われるとうれしく思います。」と、小野寺さんは地元で働くやりがいを話します。

「湯らっくす」が三陸観光の拠点となり、山田町の一層の魅力となることが期待されます。

(取材日：令和2年4月3日)

岩手県の被害状況

令和2年3月31日現在

皆様のご支援、ありがとうございます

令和2年3月31日現在

▶人的被害 死者(直接死)：4,674人 行方不明者：1,112人
死者(関連死)：469人

▶建物被害(住家のみ、全半壊) 26,079棟

被害状況等の詳細
義援金・寄付金の募集等

[いわて防災情報ポータル](#)

検索

▶義援金受付状況 約187億3,558万円(97,395件)

▶寄付金受付状況 約200億8,845万円(9,860件)

▶いわての学び希望基金(※)受付状況 約100億4,575万円(24,410件)

※被災した子どもたちが勉強やスポーツ等に励めるよう「くらし」「まなび」の支援に使われます。

いわて復興応援団(員)大募集中!

知って、買って、食べて、行って応援!

登録
無料

首都圏等にお住まいの方を対象に、応援団員(個人)と応援団(法人及び団体)の登録を募集しています。登録者には岩手県の復興の取組や観光・物産・首都圏でのイベント情報などをお届けします。

詳しくは岩手県東京事務所ホームページをご覧ください。

[いわて復興応援団](#)

検索